

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成 25 年 6 月 7 日現在

機関番号：27102

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2010～2012

課題番号：22592342

研究課題名（和文）

歯学士教育課程におけるプロフェッショナリズム教育の構築

研究課題名（英文）

Constraction of the professionalism education in the dental bachelor curriculum

研究代表者

木尾 哲朗（KONOO TETSURO）

九州歯科大学・歯学部・准教授

研究者番号：10205437

研究成果の概要（和文）：国内歯学部でのプロフェッショナリズム教育がどのように扱われているかを知るためにカリキュラムを調査したところ、多くの大学では単独科目として扱われてはいないことがわかった。そこで、プロフェッショナリズム教育の議論と普及を目的として、国内の医学教育者・倫理学教育者を特別講師として招聘し、プロフェッショナリズム教育に関するシンポジウムとワークショップを2回実施した。シンポジウムとワークショップに関するアンケートの結果では継続的な実施を求める意見が多かったことから、今後も意見交換の場の重要性が示唆された。

研究成果の概要（英文）：With investigating the professional education curriculum in Japanese dental school, we found that it was not treated as an independent subject at any universities. For the purpose of the spread of the professionalism education, we carried out the symposium and workshop with the special lectures by medical educators and ethical educators, twice. Since there were many opinions for continuous enforcement at the symposium the importance of the place to exchange the opinions was suggested.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2010年度	1,100,000	330,000	1,430,000
2011年度	900,000	270,000	1,170,000
2012年度	1,300,000	390,000	1,690,000
年度			
年度			
総計	3,300,000	990,000	4,290,000

研究分野：医歯薬学

科研費の分科・細目：歯学・社会系歯学

キーワード：歯科医療管理学・プロフェッショナリズム

1. 研究開始当初の背景

欧米さらには当南アジアの歯科医学教育学会では歯科医師になる者が身に付けておくコンピテンシーが定められている。プロフェッショナリズムはそのメジャードメインのひとつと位置づけられており、それは世界的潮流といっても過言ではない。しかしながら日本の歯学教育は世界的潮流に沿って

るとは言い難い。また、文部科学省の中央教育審議会答申（2008年）に書かれている高等教育におけるグローバル化とユニバーサル科の現状認識と改革は、歯学教育を含む高等教育に変革の時が訪れている。さらには、プロフェッショナリズム自体が時代とともに変遷し、社会的背景により変化するという特徴を持つことから、世界の医学教育界ではブ

ロフセッションナリズム教育に関する議論が行われているが、国内ではその議論はまだ緒に就いたばかりである。

2. 研究の目的

本研究の目的は、海外の歯学教育のドメインに掲げられているプロフェッショナルリズムについて、日本の歯科医学教育における現状を明らかにし、グローバルスタンダードを視野に入れたプロフェッショナルリズム教育の必要性についての議論を促し、日本のコンピテンスについて議論することにある。

3. 研究の方法

歯学士課程教育機関のシラバスを収集し、調査すべきプロフェッショナルリズムのコンピテンスを明らかにしたところ、シラバスだけでは調査できないことがわかった。そこで研究開始当初は3年目に計画していた歯学のプロフェッショナルリズム教育のシンポジウムを実施して、歯学教育を中心として医療系教育に携わっている教員と議論し、提言の場を作ることとした。また、その過程においてプロフェッショナルリズム教育に関する議論の場の作成の意義について調査した。

4. 研究成果

プロフェッショナルリズム教育の普及と議論を目的として、国内医学領域においてプロフェッショナルリズム教育に造詣の深い歯学・医学教育者・倫理学教育者を講師として招聘し、シンポジウムとワークショップを2回開催した。のべ参加数は250名であった。シンポジウムでの意見交換により、継続的な実施を求める意見が多かったことから、意見交換の場としての重要性が示唆された。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計2件)

①喜多慎太郎・鬼塚千絵・木尾哲朗・永松浩・寺下正道：初診時医療面接における模擬患者と研修歯科医間のコミュニケーション分析. 九州歯会誌. 第66巻第2号 52-65. 2012

木尾哲朗：歯科から見たプロフェッショナルリズム教育. 「プロフェッショナルリズムをどう育むか」日本歯科医学教育学会雑誌. 28(3) 140-141. 2012.

[学会発表] (計17件)

①Konoo T., Onizuka C., Nagamatsu H. Kita S and Terashita M.: THE MEDICAL INTERVIEW SKILL IMPROVEMENT PROGRAM FOR JAPANESE

POSTGRADUATE TRAINEE DENTISTS AT KYUSHU DENTAL COLLEGE HOSPITAL / The Medical Interview Up-skill for Japanese Postgraduate Trainee dentists at Kyushu Dental College. 38th Annual meeting of Association for Dental Education in Europe. Lyon. 30th August.

②Suzuki K., Konoo T., Ito T., Chiba I., Yoshida T., Ogawa T., Oishi M., Tsuruta J., Aoki S.³, Mataka S., and Kasai K.: FOLLOW-UP SESSION FOR PARTICIPANTS OF A SEMINAR ON THE IMPLEMENTATION OF A COMMUNICATION TRAINING FOR FACULTY MEMBERS IN DENTAL EDUCATIONAL INSTITUTIONS. 38th Annual meeting of Association for Dental Education in Europe. 30th August.

③Nagamatsu H., Nagamatsu Y., Konoo T., Onizuka C., Kita S. and Terashita M.: Evaluation of Dental Practice Skill of Undergraduate Using the Simulator. 60th Japanese Association for Dental Research. Niigata. 14th November.

④C. ONIZUKA, T. KONOO, S. KITA, H. NAGAMATSU, and M. TERASHITA: Analyses of Trainees' Communication Competence Using Roter Interaction Analysis System. 91st IADR meeting, Seattle. 20-23 March.

⑤木尾哲朗、大住伴子、吉野賢一、鯨吉夫、柿木保明、富永和宏、寺下正道、西原達次
プロフェッショナルリズムと多職種間連携教育の効果的導入. 第72回九州歯科学会総会 北九州 5月19日、20日

⑥喜多慎太郎、鬼塚千絵、木尾哲朗、永松 浩、寺下正道
初診時医療面接における模擬患者と研修歯科医間のコミュニケーション分析第72回九州歯科学会総会 北九州 5月19日、20日

⑦福泉隆喜、安細敏弘、永松 浩、國領真也、中原孝洋、木尾哲朗、寺下正道
本学附属病院における地域包括型歯科医療連携体制の整備に関する調査研究第72回九州歯科学会総会 北九州 5月19日、20日

⑧喜多慎太郎、鬼塚千絵、木尾哲朗、永松 浩、寺下正道：患者に信頼される医療面接に関する研究—模擬患者による信頼評価と発話分析について— 第53回日本歯科医療管理学会総会・学術大会 沖縄 7月6日～8日

⑨福泉隆喜、永松 浩、中原孝洋、木尾哲朗、日高勝美、寺下正道、西原達次：歯科大学病

院と地域歯科医療機関との連携に関する意識調査. 第53回日本歯科医療管理学会総会・学術大会 沖縄 7月6日～8日

⑩藤井規孝、田口則宏、長谷川篤司、木尾哲朗、多田充裕、小川哲次、樋口勝規、伊藤孝訓：大学における総合歯科の現状 -第1報：組織構成と担当業務-。第31回日本歯科医学教育学会総会・学術大会 岡山大学 7月18-20日

⑪木尾哲朗、長谷川篤司、藤井規孝、田口則宏、多田充裕、小川哲次、樋口勝規、伊藤孝訓：大学における総合歯科の現状 -第2報：臨床・教育・研究のテーマ（合意形成に向けて）。第31回日本歯科医学教育学会総会・学術大会 岡山大学 7月18-20日

⑫多田充裕、藤井規孝、田口則宏、長谷川篤司、木尾哲朗、小川哲次、樋口勝規、伊藤孝訓：大学における総合歯科の現状 -第3報：一般歯科医に関する諸外国での認識。第31回日本歯科医学教育学会総会・学術大会 岡山大学 7月18-20日

⑬小川哲次、大林泰二、西 裕美、小原 勝、田中良治、木尾哲朗、大西弘高：事例学習によるプロフェッショナルリズム教育について考える。第31回日本歯科医学教育学会総会・学術大会 岡山大学 7月18-20日

⑭永松 浩、木尾哲朗、鬼塚千絵、喜多慎太郎、寺下正道：臨床実習生が考える歯科医師の資質。第31回日本歯科医学教育学会総会・学術大会 岡山大学 7月18-20日

⑮鬼塚千絵、木尾哲朗、喜多直子、永松 浩、喜多慎太郎、寺下正道：研修歯科医自身が掲げた目標に対する自己評価。第31回日本歯科医学教育学会総会・学術大会 岡山大学 7月18-20日

⑯近藤 元、鬼塚千絵、喜多慎太郎、永松 浩、木尾哲朗、寺下正道：学生から見た“良い”医療面接とは？第5回日本総合歯科協議会総会・学術大会。大阪 12月1日

⑰近藤 元、鬼塚千絵、喜多慎太郎、永松浩、木尾哲朗、寺下正道：“良い”医療面接を学生目線で考える-研究室配属の事例報告-。第15回日本コミュニケーション学会)中国四国大会 共催 医療コミュニケーション教育研究セミナー (第7回) 広島 12月8日

〔図書〕(計 件)

①木尾哲朗：知っておきたいコミュニケーションエラー～安心安全な医療を提供するた

めに～。福岡県歯科医師会編。歯科時報 68 8. 23-24 2012

②木尾哲朗 鈴木一吉 脇 忠幸 藤崎和彦：歯科領域における情報提供、行動変容の援助をめぐる医療コミュニケーション教育。岐阜大学医学教育開発研究センター編。新しい医学教育の流れ’12夏。：三恵社。愛知；41-60, 2012.

③木尾哲朗：第4章 医療面接。住友雅人、木尾哲朗ほか編。歯科臨床イヤーノート 2014～. クインテッセンス出版。東京。100-125. 2013.

④木尾哲朗、永松 浩編：第2回シンポジウム「歯学士教育過程でのプロフェッショナルリズム教育の構築」。AMC 北九州。2013.

〔産業財産権〕

○出願状況 (計 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

○取得状況 (計 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕

ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

木尾 哲朗 (KONOO TETSURO)
九州歯科大学・歯学部・准教授
研究者番号：10205437

(2) 研究分担者

()

研究者番号：

(3)連携研究者

小川 哲次 (OGAWA TETSUJI)
広島大学・学内共同施設等・教授
研究者番号：80157221

俣木 志朗 (MATAKI SHIROU)
東京医科歯科大学・歯学部・教授
研究者番号：80157221

伊藤 孝訓 (ITOU TAKANORI)
日本大学・歯学部・教授
研究者番号：50176343

樋口 勝規 (HIGUCHI YOSHINORI)
九州大学・歯学部・教授
研究者番号：70117224

廣藤 卓雄 (HIROHUJI TAKAO)
福岡歯科大学・歯学部・教授
研究者番号：10189897

鈴木 一吉 (SUZUKI KAZUYOSHI)
愛知学院大学・歯学部・講師
研究者番号：80281468

吉田 登志子 (YOSHIDA TOSHIKO)
岡山大学・学内共同利用施設等・助教
研究者番号：10304320

岡藤 範正 (OKAFUJI NORIMASA)
松本歯科大学・歯学部・教授
研究者番号：50194379